

科目名: 性格心理学(パーソナリティの理解)		科目コード	EB40
科目主査: 高桑 将太		単位	4
担当講師: 高桑 将太		配当年次	3・4
授業の目的と概要	グループワーク: <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カマ・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>性格やパーソナリティということばは、もともと行動の仕方に関する広範な個人差が存在するところからつづられました。性格心理学とは、その性格に個人差をもたらす要因を明らかにしようとする学問です。 本科目では、性格心理学の今までの研究史と理論といった概略を学び、パーソナリティの理解を通して日常生活に活かせるようになることを目指します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	初学者にもわかりやすいように講義を心掛けますが、心理学について事前に学習しておくこと、より理解が深まります。		
テキスト	『性格心理学への招待[改訂版]—自分を知り他者を理解するために—』詫摩 武俊・瀧本 孝雄・鈴木 乙史・松井 豊, サイエンス社, 2003年		
この科目の到達目標	<p>①性格心理学およびその周辺領域に関する基本的な理論や知識を正しく理解し、自分の言葉で説明できる。 ②性格の形成や変容をもたらす要因について理解し、身近な現象に適用できる。 ③性格と人間関係、性格の病理などについての理解を深めることで、日常生活における人間関係を改善できる。</p>		
成績評価の方法	出題範囲・出題形式に関しては授業1日目に説明します。		
事後学習	性格心理学への知見を活用して、自分の性格の理解と身近な人たちの性格の理解を深め、対人関係に活かしていきましょう。		
事後学習の参考文献	<p>『パーソナリティ心理学-人間科学, 自然科学, 社会科学のクロスロード』榎本 博明・安藤 寿康・堀毛 一也, 有斐閣アルマ, 2009年 『はじめて学ぶパーソナリティ心理学』小塩 真司, ミネルヴァ書房, 2010年 『よくわかるパーソナリティ心理学』吉川 眞理, ミネルヴァ書房, 2020年</p>		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			